

わたしの 妊娠報告書

記載日 年 月 日

おめでた宣言日	2011 年 3 月
年齢 (31) 歳	平成 (2006) 年 (12) 月 結婚
私は (体外授精)	で妊娠しました。

不妊治療歴 (2) 年 () ヶ月
他院での治療歴 <input checked="" type="checkbox"/> なし あり→内容 ()
ASKAでの治療歴
一般不妊治療
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 () 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 (4) 回
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 () 回
<input type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 (6) 回
生殖補助医療
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回
<input type="checkbox"/> 体外受精 (2) 回
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回

妊娠の秘訣・心がけていた事

大きくなった妊婦さんのお腹をたくさん撫でさせてもらいました。
自分より後に結婚した友達が2人同時にすぐに妊娠したと知った
時は、とても辛かったし、たけれど、2人のポッコリと大きくなった
お腹を見た時にとても愛しい姿に見えて素直に喜ぶことができました。
そしてその後すぐに自分も妊娠しました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦労話し

治療内容

胃がもともと弱いので薬を飲み続けることが一番しんどかったです
体がだるくなったり、みくんで体重が増えたりすることも辛かったです
治療を始めた頃は体外授精まですると思っていたので、妊娠しな
かたとわかった時は毎回「こんな辛い思いするならもうやめてしまおうかな」と
思っていました。仕事を休むと言ったり治療を休むと言ったり気持ちがコロコロ変わ
りましたが、付き合ってくれた先生に感謝しています

その他 (通院・治療費・家族など)

職場の人の中にも姉や娘や友人などが不妊で悩んでいる人が多く
私が不妊治療をしていると知ると応援してくれる人が多く励ましてもら
いました。やはり一番は夫の支えがあってこそですが辛い時は思いきって
周囲の人に相談してみれば、案外助けてくれるかもしれません

治療中の方へのアドバイス

人工授精を何回しても妊娠しなくて、結果を聞く前に半分あきらめる
ことが多くなっていた頃に、職場の人に「絶対に自分が納得するまで
あきらめはダメ。子供ができてその子の入学式に出ている姿など具体的に
想像してほしい」という言葉に励まされました。だから、「明るい未来を
信じて絶対にあきらめないで！」と言わせていただきます

スタッフへのご意見など

多岐な中でスタッフの皆さんはいつも丁寧に対応していただき同じ医療従
事者として、とても尊敬しています。治療が辛くてもずっと通院できたのは
ASKAだからです。最後は思いがけない形で卒業となり、少し寂しい
ような気がします。中山先生をはじめスタッフの方々には本当にお世話
になりました。ありがとうございました。